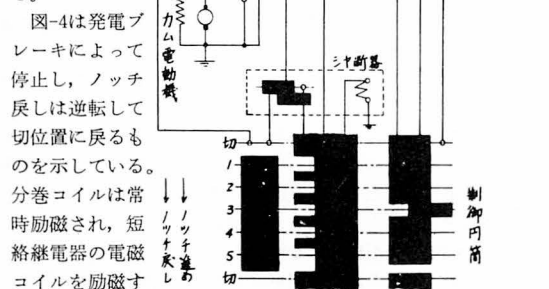


磁として右側シリンダに空気圧が加わり、左側シリンダの油圧は零となる。カム軸の回転は制止用電磁弁によって制御される。ノッチを戻すには操作用および制止用電磁弁を消磁して、右側空気シリンダに給気する。

(3) 電動カム接触器

小容量の電動機を用いてカム軸を回転する方式で、発電ブレーキによって停止するものと機械的鎖錠によって停止するものとある。ノッチ

戻しはノッチ進めと同一方向に回転して切位置に戻るものと、逆転して切位置に戻るものとある。



(沢野周一)

せつぞくえき 接続駅 一般的には連絡運輸の場合において、両運輸機関の接続地点にある駅を、また国鉄と他の運輸機関との連絡運輸の場合は、その接続地点にある国鉄所管の駅をいう。接続駅には共同使用駅と非共同使用駅との2つの形態があって、接続駅が非共同使用駅の場合には、必ず接続地点に他の運輸機関所属の駅が所在し、これを対向駅という。なお本線と支線との分岐駅・海陸連絡駅を接続駅と通称することもあるが、これはここでの意味の接続駅ではない。(鈴木与吉)

せつぞくえきけいゆしゃりょうじゅんぼう 接続駅経由車両旬報 国鉄または他の連絡運輸機関(以下「社」という)所属の車両が、国鉄線と社線との接続駅を経由して国鉄線または社線に出入したものに対し、1句中の実績を報告するため、その接続駅において作成する帳表。

各運輸機関は、連絡運輸を円滑にするため、他の運輸機関所属の客車または貨車を運用することができるが、これを運用した運輸機関は当該車両の所属運輸機関に対し、運用した車両の在線時間に応じて所定の車両使用料を支払わなければならない。すなわち連絡車両が運用された場合は、これを運用した運輸機関とその車両の所属運輸機関との間に、車両使用料の清算の必要を生ずることになる。この旬報は、この場合の車両使用料清算の資料として、接続駅において連絡車両運用の事実を報告するため作成するものである。

様式は甲・乙・丙の3片制で、乙片は駅に保存、甲・丙片は駅長検印のうえ国鉄所属車両に対しては社に、社所属車両に対しては国鉄(経理局審査統計課)に提出、それぞれ当該車両使用料清算の資料に供される。(伊藤 孝)

せつぞくりょう 接続料 一般の鉄道と非直通線・社航路または自動車線にまたがり運送される車扱貨物は、運送途中にお

いて必ず積替が行われるが、その積替のために要する費用をいう。この費用は荷主負担とし、貨物受託の際、荷主より収受することになっており、接続料額はつぎの運輸機関との連絡運輸の場合は各下記のとおりであるが、その他の場合はおおむね1t 当たり90円である。

稚内利礼運輸航路	トン当り	450円
道南海運航路	通過の場合 青森港または函館港着の場合	596円 455円
佐渡汽船航路	万代接続 直江津接続	280円 230円
佐渡トラック	万代接続 直江津接続	330円 280円
水郷観光交通航路	佐原接続	280円
九州郵船航路		450円
西桜島村営航路		270円

(鈴木与吉)

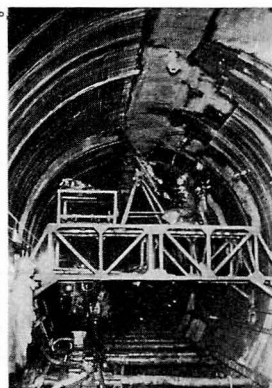
せったんき 節炭器 (英) economizer 火力発電所においてボイラで蒸気を発生する際、ボイラの燃焼ガスの排気を1度ボイラ給水中に通じて、給水を予熱してから煙道に逃し、熱効率を向上するために用いる装置をいう。燃焼ガスの通路と給水予熱管とからなり、ボイラに接して設けられる。(長岐靖隆)

セメントちゅうにゅう セメント注入 (英) grouting

岩石や土中の割目や空隙(くうげき)にセメント乳(セメントを水で乳状に解いたもの)を注入して、湧水(ゆうすい)を阻止したり地盤を固結したりする工法。主としてトンネルの湧水防止、覆工コンクリートの補強、噴泥(ふんでい)路盤の固結等に応用されている。

セメント乳のかわりにモルタル(細砂とセメントを水で練ったもの)を用いた場合はモルタル注入、薬液を用いた場合は薬液注入という。最近ではコンクリート骨材を型わく中に填充(てんじゅう)しておき、それにモルタル注入をしてコンクリートを作る工法も実施されるようになった。これをプレバックト・コンクリート (prepacked concrete) という。

注入機としては圧縮空気により吹き込むカニフミキサと、プランジャーによって圧入する注入ポンプとがある。(松島 甫)



セメント注入

せんいんく 船員区 国鉄の鉄道管理局および船舶管理部の現業機関。そのおもな担当業務は船員の運用・指導および監督である。すなわち連絡船に所属しない予備船員が所属するところであり、この予備船員の乗船および非番を指定したり、指導監督等を行うところである。予備船員は連絡船に乗組員として乗船した場合は、当該職務に従事し、乗船しないときは区長の指導監督を受けるものである。函館(青函船舶鉄道管理局所属)、下関(広島鉄道管理局所属)および高松(宇高船舶管理部所属)に設置されている。

船員区には船員区長が置かれ、鉄道管理局長または船舶管理部長の指揮を受けて、予備の船長、1・2・3等運転士、水手長、船匠、船庫手、操込手、水手、機関長、1・2・3等機関士、火手長、機庫手、操機手、副かん手、火手、事務長、事務掛、司ちゅう長、司ちゅう掛、料理長、料理手、船舶給仕、役